



寒河駅前で兵庫から引き継ぎました

7月16日、2022年国民平和行進東京一広島コースのリレー旗が兵庫県から岡山県に引き継がれました。午前11時45分からの引継ぎ集会のJR赤穂線寒河駅前には兵庫から18名、岡山県から40名が参加しました。

兵庫県代表の梶本県原水協事務局長は「7月7日の盧溝橋事件の日、核兵器禁止条約採択の日に大坂から引き継ぎ、最初の核実験の行われた7月16日に引き



継ぐというまさに『戦争か平和か』という重要な局面の行進になった」とあいさつ。岡山県を代表して西崎県労議長が「ロシアの核威嚇という状況の下で核兵器禁止条約は世界の向かうべき方向をしめした」と挨拶しました。

県内通し行進者の伊原潔さんは「4回目の県内通し行進をします。岡山県では県を除く27自治体の全首長が「ヒバクシャ国際署名」に賛同し、20の自治体が政府に核兵器禁止条約参加を求める意見者を採択しています。歩くことに意味のある平和行進。自治体と共に平和をめざしあるきます」と決意を述べました。この日の行進は備前市日生支所経由 JR伊里駅まで行進しました。行進後、代表が和気町を訪問、今田副町長と懇談しました。



和気・太田町長から署名 募金 NPT 署名



右・備前市日生杉田支所長からペ
ナントと、ポトル募金をいただき
ました。左・和気町今田副町長か
ら町長の「ヒバクシャ国際署名」ペ
ントをいただきました。懇談後の
記念写真（中央のスーツ姿が今田
副町長）

